

第32回 Technology Research Presentation 技術研究発表会

一般財団法人国土技術研究センター(JICE)は、今年で45周年を迎えます。この間JICEは、高度な建設技術に関する調査研究機関として社会に貢献して参りました。第32回となる技術研究発表会は、JICEの実施している研究や活動状況等を広く一般の方々に対してご紹介するために開催いたします。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

特別講演 13:10～

「日本と東京のこれから～2050年を見据えたインフラ整備のあり方～」

明治大学名誉教授、帝京大学特任教授、森記念財団業務理事 **市川 宏雄氏**

人口減少・少子高齢化社会、テクノロジーの進展など、社会を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。今後の日本の国土、都市はどのようにあるべきなのでしょう。2050年を見据えて、都市政策の観点から、日本や東京がすべきことは何か、お話しします。

研究課題発表 14:55～

河川、道路、都市・住宅・地域、技術・調達の各分野から6課題を発表

※プログラムは裏面参照

交流会 18:15～

会 場：カンファレンスルーム

参加費：1000円

■日 時

平成30年(2018年)

7/6

金 13:00～

定員 **500名**

参加無料

■参加申し込み

JICEのHP ▶ <http://www.jice.or.jp/>

必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。

※多数のご来場が予想されますので、参加ご希望の方は早めにWEBにてお申し込み下さい。



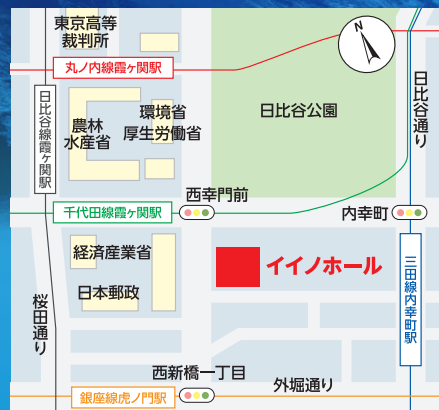
・本技術研究発表会は、土木学会認定の継続教育(CPD)プログラムに認定(JSCE18-0401)されています。

■会 場

イイノホール

東京都千代田区内幸町2-1-1
飯野ビル4F
TEL 03-3506-3251

- 東京メトロ 日比谷線・千代田線 「霞ヶ関」駅 C3出口 徒歩1分
- 東京メトロ 丸ノ内線 「霞ヶ関」駅 B2出口 徒歩5分
- 東京メトロ 銀座線 「虎ノ門」駅 9番出口 徒歩3分
- 都営地下鉄 三田線 「内幸町」駅 A7出口 徒歩3分



問い合わせ先

JICE 一般財団法人 国土技術研究センター
Japan Institute of Country-ology and Engineering

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-12-1 (ニッセイ虎ノ門ビル)
TEL 03-4519-5006 FAX 03-4519-5016
E-mail gijutu-happyoukai@jice.or.jp

第32回 技術研究発表会プログラム

13:00	開 会
13:00～	挨拶 理事長 谷口 博昭
13:10～	特別講演 「日本と東京のこれから～2050年を見据えたインフラ整備のあり方～」 明治大学名誉教授、帝京大学特任教授、森記念財団業務理事 市川 宏雄氏
14:40～	休 憩
14:55～ 河川政策 グループ	グループの紹介
	地下街等における避難確保・浸水防止対策の取り組み 平成17年の水防法改正により、不特定多数の者が利用する地下街等に対し「避難確保計画」の作成等が義務付けられた。平成25年には「浸水防止計画」についても義務化され、平成27年には、従来の洪水に加え内水、高潮も対象外力に加わることとなった。本発表では、地下街等の歴史的経緯、地下街等に係る水防法改正等の経緯を踏まえ、地下街等における避難確保・浸水防止対策の現状と課題を示し、技術的な取り組みについて報告する。 発表者 朝日向 猛 首席研究員
	堤防被災の危機管理の経験と教訓／提案 大規模地震は突然に発生し、広範な地域に被災を及ぼす。一方、洪水による堤防決壊は、出水期間中であり大規模地震と比較すると被害範囲は限定される。いずれにおいても、堤防被災に関する緊急復旧、本復旧の工事を短時間で的確に行う必要がある。「平成23年3月11日の東日本大震災」における利根下流の堤防被災及び「平成27年9月の関東・東北豪雨」における鬼怒川堤防の決壊の緊急復旧経験から、同時に多数の被災が発生し、24時間体制で対応する場合の課題及び輻輳する情報の発信や受信確認の課題等への対応が重要であり、省力化の観点から情報の自動配信等について提案を行う。 発表者 銭谷 秀徳 首席研究員
15:50～ 都市・住宅・ 地域政策 グループ	グループの紹介
	公共空間の活用・維持管理と連動したエリアマネジメントの現状と課題 近年、都市・地域の再生においてエリアマネジメントが期待されている。以前までは、地域おこしの官民連携のようなイメージであったが、立体道路等の官民の空間が一体となった施設整備制度の拡充や様々な規制緩和、社会実験の蓄積により、道路や広場等のまちなかの公共空間を賑わい創出の場所として有効活用しつつ、民間がその維持管理協力を行うなど公共空間に積極的に関与する動きが見られる。官民の管理者の枠組みを越えて、まちなかの価値を高めるエリアマネジメントの特徴と課題について述べる。 発表者 佐々木 正 首席研究員
16:20～	休 憩
16:35～ 道路政策 グループ	グループの紹介
	ICT・AI技術を活用した道路管理高度化の取組み 道路行政においては、ミッシングリンクの解消などの継続的な整備に加え、さらなる安全・効率の向上、的確な維持修繕・更新、気象変動や利用者ニーズの多様化等、限られた資源によるより迅速かつ的確な対策が必要な状況となっている。こうした状況を踏まえ、道路政策グループでは監視カメラ等の画像を情報ソースとし、最先端のAI技術を活用して道路交通状況を把握、道路管理者の状況把握能力の向上を支援する自主研究を推進中である。 当該報告では、この取組みを報告する。 発表者 谷口 宏 首席研究員
	未来への投資 新たな価値・文化空間としての「みち」の創出 ～道路空間委員会 提言とりまとめ報告～ JICEでは自主研究として、有識者による「道路空間委員会」を設置し、道路空間に関する様々な議論・検討を進めてきた。道路を自動車の走行する空間としてだけでなく、歩行者や自転車など「ひと」が中心の「みち」として捉え、多様な価値観を持つ社会の中で、道路空間の活用、必要な制度等について議論を重ねてきた。 今回、これまでの議論をもとに、これからの道路空間に必要な提言についてまとめたので、報告する。 発表者 野平 勝 首席研究員
17:30～ 技術・ 調達政策 グループ	グループの紹介
	工事記録映像の活用に関する研究 工事現場において施工状況を撮影し、その映像を品質の向上や安全管理等に活用する方策について、工事記録映像活用研究会を設置し、「工事記録映像活用試行要領・同解説」を作成するなど、研究を進めている。 本発表では、各地方整備局等において昨年度実施された試行工事の結果を踏まえ、工事記録映像の活用による監督・検査の効率化や施工の信頼性向上等について、その実現可能性や有効性、実現に向けての課題等を検証し報告する。 発表者 阿部 俊彦 研究主幹
18:00～	閉 会
18:15～	交 流 会（会場：カンファレンスルーム）